

二〇〇四年

神戸酒徒番附選考座談会



定年を70歳から65歳に。新しい顔ぶれが揃う。

西／経済人

■選考委員

木下 健さん(三富商店 代表取締役会長)

角田嘉宏さん(有古特許事務所 所長)

桃田武司さん(神戸新聞社 編集局経済部長)

松田茂樹さん(マニックス 取締役社長)

—本年度から、定年を70歳から65歳に設定しました。2003年は阪神タイガースの優勝に尽きるのではないかと気がいたしますね。神戸市がファッション都市宣言を行って30周年という節目でもありました。また、先端医療産業都市が伸びてきているようです。

A 苦戦を強いられている神戸経済の中にあって神戸のファッションは元気だなという気がしますね。ワールドの寺井秀蔵を筆頭に健闘している。ジャヴァの細川数夫は、長年にわたって神戸ファッションを先導してきた。この功績をふまれば張出横綱に匹敵する。

C ファッション都市宣言30周年では、イズムの小田俱義が先頭

に立って活動したから、張出大関に相応しい。2004年は、オリンピックイヤーだからアシックスの和田清美の活躍にも期待したい。

B 神戸の産業の将来を考えた時、食文化産業が中心になってくる。現在食文化産業の売り上げは、重厚長大産業とほぼ同じ水準にあるという。ロック・フィールドの岩田弘三、伊藤ハムの伊藤正視、MCC食品の水垣宏隆、沢の鶴の西村隆治、新社長となったドンクの友近史夫らの活躍は目覚ましい。

A 神戸のファッションでいうと、旧居留地界隈の神戸大丸周辺が、ファッションタウンとしてかなり注目されている。食品産業というとトーホーの岩崎誠輔は、小学生を畑に招くなどして食育に尽力している。

D ルシエルブルーの高下浩明の活躍ぶりは目を見張るものがある。価格競争が進む中で、逆に敷居を高くして、他の追随を許さない。

B 震災復興関連ではKOBEGHYOGO 2005夢基金プロジェクトを実施したフェリシモの矢崎和彦も社会貢献という意味では計り知れないものがある。

D (社)神戸青年会議所では、インド系アメリカ人の理事長キラ・S・セティが、グローバルな

視点で若者らしい活力のある活動を行った。本年度は、神戸風月堂の下村治生が理事長になる。元町商店街も130周年を迎えるか



木下 健さん



角田嘉宏さん



桃田武司さん



松田茂樹さん

ら期待したい。

C 先端医療産業都市構想の関係でいうとNIRRO(財)新産業創造研究機構が中核を担う。松井繁明が掲げる大企業の技術や大学での研究の成果を中小企業に移転させるビジネスは、成功すれば日本の産業復興のモデルになる。

―各地域ごとにも新しい動きがありましたね。

B 有馬温泉は特区に指定された。ねぎや陵楓閣の増田兵右衛門が有馬温泉旅館組合長を務め、街づくりや名産づくりなどの活動に熱を入れていく。

C 世界中からの玩具を集めた有馬玩具博物館をオープンさせた御所坊の金井啓修も、街への思いが感じられる。

A 元町東地区協議会(MEW)の永田耕一は、神戸大丸前で日野皓正を招いて元町ミュージックピクニックを開催するなど神戸らしい催しで市民を楽しませた。

D 南京町では、老祥記の曹英生が、南京町商店街振興組合長に就任し、春節祭を充実させるなど、その手腕を発揮している。ホテル業界では、神戸ポートピアホテルの中内仁に寄せられる期待が大きい。

―皆さんのご活躍が光りますが、

本年度の横綱はどなたでしようか。

従来通り、定年が70歳であれば、淡路屋の寺本滉が最右翼だった。昨年100周年を迎え、孫も誕生しましたから活躍が期待できる。

C 医療機器の開発、販売において、世界の中でもトップレベルのシェアを誇るシスメックスの家次恒の活躍が目覚ましい。神戸商工会議所の副会頭という要職に就き、「神戸21世紀サロン」を発足させるなど、神戸経済界のニューリーダーとして期待される。張出横綱に文句なしだろう。

B 神戸は港湾の発展によって栄えてきた。神戸空港の開港や突堤が特区に認定されるなど、神戸の生命線を握っている。川西倉庫の川西章二が横綱を張ってもらわなければいけないだろう。

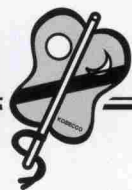
―三役はどうでしょう。

A 真珠の街として知られる神戸だが、奥田真珠の奥田一弥が、力を入れていく黒蝶真珠の売り上げが、好調のようだ。真珠業界の中でも健闘が光っているので殊勲賞にしよう。

B 敢闘賞は、様々なパフォーマンスを見せたキラン・S・セティ。
D 南京町を総括する曹英生が、技能賞だろう。

二〇〇四年

神戸酒徒番附選考座談会



阪神タイガース優勝で横綱は星野!

東／文化人

■選考委員

岡田 弘さん(元町画廊社長)

武田則明さん(建築家)

吉岡隆重さん(神戸新聞地域活動局局長)

横綱・星野仙二で決まり

—さて2003年を振り返って。

A やはり阪神タイガースの優勝につきるよ。星野仙一前監督の名前が挙がるね。

B わつ、早速ですか。

A 経済にしてもスポーツにしても、社会に与えた影響は大きいからね。

C 文句ないですよ。これはもう、一気に横綱ですな。昨年話題は、タイガースに始まり、タイガースに終わったという感じでしたね。優勝バレードにも25万人が出たとか。

B オリックスの谷佳知も挙げたね。ヤワちゃんを射止めたというのはすごいね。

A “世界一のお嫁さん”をもらっ

たんやからね。

B 谷くんには殊勲賞をいかがでしょう。

C ヴイツセル神戸からは三浦知良。ヴィツセル神戸は経営が変わっても市民球団には変わらないからね。

よく動き、飲み

活躍した文化人たち

—昨年の番附表を見ましようか。

A 美術の上位では植松奎二、引き続き頑張っていたね。

B 逆さまの頑張りで河崎晃一。芦屋市立博物館がふれそうだと。番付には自身の造形作家として出ているね。

A 昨年の上位、谷川浩司、大森一樹、内藤国雄、吉田泰巳までは動かないね。

C 吉田泰巳さんがずっとこの位置なのはなぜ。

A よう飲むから(笑)。

B 玉岡かおるも大作『天涯の船』を発表した。

C 伊藤ルミも頑張っている。けれど順位は小曽根真の方が上だろね。

A 佐川満男は病氣してましたね。あかん、休場にしましょう。けっこう番付に登場すると頑張って飲んじゃう人がいますからね。

B 井茂圭洞さんが昨年定年になったから、書道関係がないね。一



吉岡 隆重さん



岡田 弘さん



武田 則明さん

人、姫路の人だけれど、日展で内閣総理大臣賞を受賞した書家・黒田賢一の名前を挙げたい。朝日会館など神戸にも関わりが深いのだが、ちよつと無理かな。

A 建築家ではどうですか。

C 宮西悠司が石川賞という、ものすごく大きな賞をとった。全国ネットだよ。瀬戸本淳は兵庫県建築士学会の副会長に就任、一気に張出小結に。

B 浅黄斑の原作は、テレビドラマ

マで何本も放送されている。酒もよく飲むし。

A 貞松・浜田バレエ団の貞松正一郎、フラメンコの東仲一矩、十両では松本薫平、WAKKUN（湧嶋克己）も頑張っているね。

新しい名前が続々登場

―さて、今年は中山景甫と、須永克彦、小林陸一郎が定年。新しい顔ぶれを入れましょうか。

A 若柳吉金吾の他に、舞踊関係では、藤間莉佳子が「浮舟」にチャレンジしたり、小学校をまわって舞踊公演をするなどの活動を頑張っているね。あ、でも彼女はあまり飲まないからなあ。

B 華やいだところでええんちゃいますかね（笑）。

C 淡路島での「花とみどりの百科展」で活躍した林まゆみも挙げたい。

B 制作活動だけでなく地域活動の点でも、杉山知子、嶋田誠は入れておかないといけませんね。

A 北野・山本地区の浅木隆子も入れたい。北野クラブでは、今年、近くに「収穫の丘」を完成させる。

C 神戸陶芸館館長として画家の南和恵が入っているけれど、具象の絵描きが誰もいないね。犬童徽を入れましょうか。ジャズと馬が いいよ。

B しゅんこうのちぎり絵で全国的に活躍している田中悠子も。

A 昨年まで会長をつとめた中山景甫に代わり、次期兵庫県いけばな協会長の肥原碩甫を挙げましょう。

―ラグビーからは神鋼ゼネラルマネージャーの平尾誠二が入っているけれど、今度小誌で対談シリーズが始まった林敏之を入れてください。

C 和太鼓松村組の松村公彦はいかがでしょう。

B いいね、頑張っている。

A 宝塚市の教育委員長にもなった田辺眞人の名前が入っていないね。神戸の歴史について研究、講演会などで精力的に活躍しているから入れたいね。

B 詩人として本も出しているし、御影花びらまつりなども主催して動き回っている岡本真穂も入れたい。

C 新開地のアーティスティックなゲートデザインした工藤和美は名前だけでも挙げたい。

A 殊勲賞には谷選手が選ばれましたが、他の2賞は。

B 技能賞に宮西悠司を選びたいね。

C 宮西さんはよう飲むしね。昔、よう一緒に朝まで飲んだことがある。A パーン、と敢闘賞には松村組のリーダー、松村公彦を入れようか。太鼓の音が響き渡りますよ。

徒 番 附



平成十六年	西〈経済人〉																殊勲賞 奥田 一弥	敢闘賞 ギン・S・セティ	技能賞 曹 英生									
																	勝負検査役											
																	梶木 雅夫			嘉納 秀郎			市野 康男					
																	石阪 春夫			沢井 修一			河野 忠博			奥村 孝		

神戸酒

[illegible]



でん太の 教えてドクター



その⑤ 虫歯について

お話／足立優歯科診療所 足立 優 院長

でん太 あー、困った困った。ど
ないようななあ。悩むわ…。
Dr. でん太、どないしたん？
何か困ってるの？

でん太 もうすぐバレンタインで
しょ。ほくは毎年いっぱいチョコ
レートを貰うから、また今年もよ
うけ甘いチョコを食べると、虫歯
にならへんかと心配やねん。

Dr. 何や、そんなことで悩ん
でるのか。心配しなくても、食べ
方さえ気をつければ大丈夫。それ
にチョコレートに含まれているカ
オマスポリフェノールには歯垢
を出来にくくする作用があつて、
チョコレートは他の砂糖菓子より
も虫歯を起こしにくい食べ物なん
だよ（大阪大学歯学部による実験
結果から）。

甘くないから大丈夫と思って食
べている、ご飯やパン、それから
ポテトチップスなんかのスナック
菓子のでんぶんも口の中で糖分に
変化するんだよ。特にスナック菓
子は歯に粘り着きやすく虫歯菌の
絶好の餌になってしまふからね。
だから食べないようにすることが
大事やね。

でん太 そうか、虫歯にならない
ためには、口の中に糖分を残さな
いことがポイントなんやね。ドク
ター、虫歯はどんなふうに進行し
て、治療はどうなるの？

Dr. まずは歯の表面、エナメ
ル質の虫歯C1は、歯の表面の最
も硬い部分から始まるのでほとん

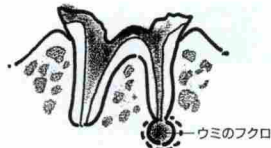
ど自覚症状はないけれど、この時
に治療すると痛みもなく簡単なん
だ。それが少し進み、虫歯がエナ
メル質を越えて象牙質に広がるC
2になると、冷たいものや甘いも
のがしみてくるんだよ。このころ
までは、治療もわりと早く済むの
で、虫歯が神経まで達する前にな
るべく治してしまふのがいいね。
でん太 それを放っておくとどう
なるの？

Dr. それ以上進んでC3にな
ると、たえず激痛になやまされ、
治療では神経をとってしまうので、
時間もかかり冠をかぶせないとい
けなくなってしまうんだよ。それ
が歯根まで進んだC4の段階にな
ると、根の先が化膿して歯の形が
なくなり、神経の穴を通して顎の
骨に細菌が感染すると顔が大きく
はれる事があるんだ。ここまでい
ってしまうと、治療は大変困難にな
ってしまうね。

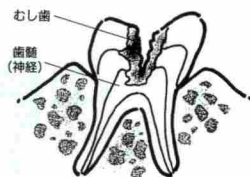
でん太 虫歯は、徐々に大きくな
り、進行してしまい、放っておい
て治る言うわけではないから、
初期の段階で虫歯を見つけないと
いけないんやね。

Dr. それには、歯科医院に行っ
て悪いところは早めに治し、今後
虫歯のない状態を維持しておくこ
とやね。そのためにはできれば予
防歯科医療を前向きに考えている
歯科医師に診てもらった方がいい
ね。

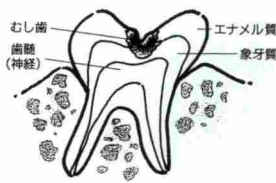
それに自分でできる予防として、

C₄

歯根まで進んだむし歯

C₃

神経(歯髄)まで進んだむし歯

C₂

象牙質(神経に近い)むし歯

C₁

エナメル質(歯の表面)のむし歯

Dr. 歯ブラシだけでは歯についていた汚れの60%位しかとれないといわれているから、歯と歯の間のとれにくい汚れには、これらのデンタルフロスや歯間ブラシが有効だね。それから、歯石を取ることも忘れずにね。歯石は虫歯や歯槽膿漏の原因になるからね。

自分にあった歯ブラシや歯磨きの仕方をも身につけて確実に汚れを落とせるようになろうね。
でん太 ドクター、この頃スーパーマーケットや薬局でよく見かける、デンタルフロスや歯間ブラシも使った方がいいのかなあ？

確かに汚れが落ちていくかどうか歯科医院で診てもらったり自分でもチェックする事が大事だね。歯科医院で磨き残しがないか調べるために使う赤い薬を試してみてもいいと思うよ。この薬は薬局でも市販されているから、自分で磨き残しがあるかチェックする事ができるんだ。

Dr. そう、歯磨きで一番大事な事は歯についている汚れがしっかりと除去できているかどうかということ。磨いたつもりでも汚れが残っていれば磨けていないのと同じだよ。

でん太 ふうん、ただ磨けばいいわけではないのか。

でん太 規則正しい食生活や、正しいブラッシング、それから定期的に歯科医院に行って検診を受けることが、虫歯になって歯を失わないための必須条件なんやね。これで今年はチョコレイトをいくつももらっても安心、安心。ドクターにも少しわけてあげるね。

■足立 優 (あだち まさる) 1960年生まれ。大阪歯科大学卒。1988年米国留学後、神戸市東灘区に足立 優歯科診療所開設。行動医学の概念を基盤とした自己決定に基づく予防管理中心型の歯科医療を展開する。

足立 優歯科診療所

神戸市東灘区岡本1・3・33
TEL 078・411・0024 FAX 078・411・0056
e-mail: adachi@kba.att.ne.jp
http://ado.pr-business.net

※これからは患者の権利を守る予防歯科医療が主流となります。情報をお知りになりたい方は、Dr.足立までお問い合わせ下さい。

ギックリ腰だな
まかせろ



イデデデ...

「ギックリ腰」を抜きとるのじゃ



ソージキに
見えますけど

フゴゴゴ...

ウイーン...

痛みはとれましたか 立てません

そりゃそうだろ
「腰」も抜けておるからな



そんな...

だが心配ない
「腰」を注入!



おお! 立てました!

この「腰」は
どこから
とってきたんで?



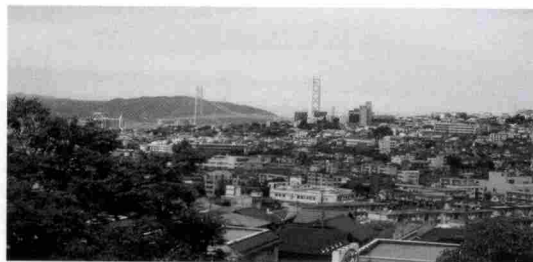
夜食用の
さぬきうどんから



6 

「陸の孤島」はどこへ行こうとしているのか？

田中正人（都市調査計画事務所／神戸大学／神戸山手女子短期大学）



「道路を通すのは絶対に無理。わしには分かる」。

ここはかつて区画整理がすったもんだの末、施行直前に白紙になったという神戸市某所のまちづくり勉強会の場だ。我々がこの地域の支援をはじめて数年になる。議論はしばしば「道」問題をめぐって白熱する。「あれだけ大きな橋ができたんだから道くらいでいいはずはないんだ」。ここからは明石海峡大橋がよく見える。橋というにはあまりに巨大なこの土木構造物は、開通から6年に満たないにもかかわらず、今やこの地域一帯のアイデンティティの核として確固たる地位を占めている。「僕は道なんか必要ないと思う」。ここの住人の多くは、口をそろえて自らのまちを「陸の孤島」と呼ぶ。幹線道路がない。路線バスもない。鉄軌道によって分断されている。タクシーにも嫌がられる。区画整理がボシャッタ。誰も相手にしてくれない。よってこの地域は「陸の孤島」である、と。いささか自虐的な自己診断だが、そういったまちの性格ゆえに通過交通はほとんどない。だから道路なんていらんじゃないか、そういう意見もある。

これらは勉強会の場で実際に交わされ続けてきた3つの代表的・対照的な発言だ。確かに、一見するとこのまちの最大の課題は「道」問題であるように思える。しかし、彼／彼女らの議論の核心にあるのは本当に「道」それ自体なのだろうか。もちろん「ギリシャ悲劇」とか「フェルマーの大定理」ではないだろうが、

同様に「道」という単なるモノをめぐるコンフリクトでもないように思う。

「道が必要だ」という主張は例えばまちのバイタリティを向上させたいという企図を持っている。「道などいらない」という反論は、アンチ・モータリゼーションを含意した環境改善に向けたマニフェストに違いない。「道をつくるのは不可能だ」という呟きは、民主的意思決定と合意形成の暗澹たる隘路に対する嘆きと諦めなのかもしれない。「道」というモノの背後には彼／彼女らが本当に望んでいる別の何かが見え隠れする。仮にも、まちのバイタリティの向上と環境改善と民主的意思決定の方法論を同時に追求していく作業は容易ではないだろう。容易ではないが、そこには原理的に止揚され得ないようなア・プリオリな矛盾はない。少なくとも「道」はいる／いらない、できる／できないといった、無限に引き伸ばされた軸線上の両端に相互が立脚するような議論の構図を解体することはできる。それを解体しない限り、「道」をめぐるコンフリクトはまるで、先の見えない袋小路をそれと知らずに突き進んでいくようなものだ。

「陸の孤島」はどこへ向かうとしているのか。この問いをめぐる、いつも議論の中心に据えられてきたのは「道」問題だった。でもそれはとんでもない誤謬であったのかもしれない。このまちの眼前に大きく横たわっているのは、実は「道」問題ではなく、ありとあらゆる問題を「道」に吸い寄せ、呑み込み、回収してしまう構造そのものではなかったか。我々は、実に長い歳月をかけてようやくそのことに気づいたのだ。気づいたからといって問題が氷解するわけではない。問題は単純ではない、という当たり前のことを認識したにすぎない。だがこの認識を通してはじめて、このまちが袋小路から抜け出すことができた。現状は「ギリシャ悲劇」ほど悲劇的ではない。地道な努力はやがて答を見つかるだろう。「フェルマーの大定理」でさえ、たったの350年で解かれたのだから。

住まいの個性②



野崎瑠美

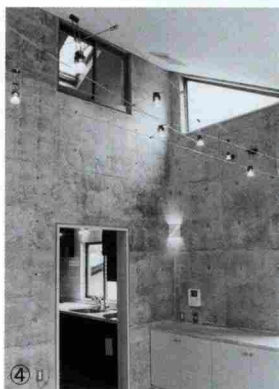
南海空間工房取締役
旭兵庫県建築士会神戸支部長



①



②



④

①道路斜線内で精一杯有効利用した部屋。斜めに差し込む光と、空に向かって外部が大きく見える窓は開放感を与えてくれます。

②狭小宅地での木造の3階建て住宅の最上階の部屋。北側斜線をクリアにした屋根勾配での天井の高さと素朴な仕上げで明るい印象となっています。

③屋根裏の明かり取り窓。平屋建ての屋根裏部屋のドーマー窓から切り取った

光窓。三角の窓からの光が屋根裏に楽しさを加えています。

④吹き抜けの居間。コンクリート打ち放し仕上げの暑さ対策を考えた空間。高い天井を持つ居室には、冬場の足元の暖房と、夏場の暑い空気の流れの対策が必要で、居間の上部の窓とロフトの天窓は、空気の循環に効果的です。

⑤天井の高い子供部屋。屋根勾配に合わせた天井にヒバのムク板を貼り、北側には光と換気のための天窓を設置。香りのいい素材の高い天井は、のびのびとした子供の成長が期待出来るそうです。

歴史的建造物の保存について、最近様々な機会を取り沙汰されるようになっていきます。歴史的に大事にされている神戸の建築と言え、北野の異人館や居留地のビルなどが有名です。昔の建物はいい材料で丁寧に造られており、残念ながら現代の建築はその点で超えることが出来ません。経済効率が悪先されて、ゆとりがないということでしょうか。住まいでも経済効率で言えば、四角い箱を積み重ねると経済的ですが、少し変形したような無駄な空間は住まいに楽しさを加え、家の記憶の歴史ともなります。今回はそんな「変形の空間」をご紹介します。

土地の面積が貴重な都会の中では、その土地で建てられる建物の面積を最大限有効に確保することが設計者に課せられた当然の仕事になっていきます。形が決まるまでの過程は、決められた予算の中で、暮らしの機能や住まいにおける夢の要望を満たすことと、楽しい豊かな空間を作っていくこととするこの積み木崩しのような作業の連続となります。要望を詰め込んで行く中で、建築の法的規制での苦肉の策の結果が、結構面白い空間となることもあります。非日常的な変形の空間は、住まいの個性として家族の記憶に残っていくようです。

③

⑤

(株)エフエルエスが商品PRのDVDを発表

「MISSION オーガニックコットンを求めて」

デンマークをはじめとする北欧のファッションなど、日本では親しみの薄かった商品を取り扱う、ファッション業界に新しい風を吹き込む(株)エフエルエス。今度は快適性や安全性の高いオーガニックコットンのPRのためにDVDを製作。その上映会が開催された。



「MISSION~オーガニックコットンを求めて~」のDVDジャケット

なファッションスポットとして、(株)エフエルエスの新社屋が誕生した。常に、新しい発想でファッション情報を発信する荒牧英樹社長の手腕も見逃せない。

1月30日、エフエルエスの新しい取り組みや商品を、ビジュアルを通して紹介するDVDの制作発表会が神戸朝日ホールで開催された。「MISSION~オーガニックコットンを求めて」と題

神戸のファッションを世界へ向けて発信する大丸神戸店を中心とした旧居留地界隈。昨年12月には、新た

するこの映画。出演者も荒牧社長をはじめすべてエフエルエスのスタッフや取引先というキャストینگ。

スクリーンには、神戸を象徴するシーンも随所に登場する。

ストーリーは、荒牧社長の命で、渡辺泰之さんと幸田多純さんが、オーガニックコットンの原料となる綿花の栽培を行うテキサス州のエルパソという町へ行き、どのように栽培され、製造されていくかを見て学んでくるというもの。エルパソでは、無農薬で有機栽培を行い、通常の綿花栽培の10倍以上もの労力を費やして



舞台あいさつを行う
杉本幸雄監督と渡辺泰之さん、幸田多純さん

いる。つまり科学葉品品を使用していないから、オーガニックコットンには、肌にか適度であるだけでなく、環境に配慮した素材であること、そして栽培に携わる人々が、愛情を注ぎながら栽培をしていることを伝えていく。快適で、安心できる生活文化を提供していくこと。これがエフエルエスの使命なのだろう。荒牧社長は「MISSIONパートII」の制作も今後予定しています。映像を使ってわかりやすく伝えていきたい」



エルパソの綿花栽培を目の当たりにする幸田さん



(株)エフエルエス荒牧秀樹社長

北野町の異文化コミュニティを発信。河内厚郎プロデュース 「神戸・北野発2004年 トーク&ミュージカル」

世界中で紛争が絶えないが、北野町には国や宗教のコミュニティが育まれてきた土壌がある。今回、兵庫県阪神淡路大震災復興10周年事業企画委員を務める河内厚郎さんが、コミュニティの原点を北野町から発信していきたいとフォーラムとトークショーを企画した。

阪神・淡路大震災からすでに9年が過ぎた。当時は震災が契機となって市内各所で、市民同士のコミュニティの形成が見られ、国籍や宗教を超えて助け合う姿は、神戸が成熟した大人の町であることを強く印象付けた。神戸北野町にも、異人館に代表されるように、

多くの外国人が生活を営んできた。さまざまな民族や宗教、異なる文化をもちながら、個性を尊重しながら共存するコミュニティが、日本どの地域よりも確立されていた。

1月30日、互いのイデオロギーを越えて異教徒が共存する、街と文化のあり方を考えるフォーラム

「神戸・北野発2004」が、神戸ネザールランドセンターで開かれた。今回プロデュースを担当した河内厚郎さんは「今、世界中で紛争が絶えないが、北野町にはカトリック教会、ユダヤ教会、ジャイナ教会、イスラム教会、日本の神

社などが共存しています。生きた宗教ミュージアムのような街です。そんな北野町から、異文化のコミュニティを発信していきたい」

第一部のフォーラムでは、河内さんの他、NHKのレポーターのダリア・アナビアンさん、北野天満神社の宮司、佐藤典久さんらが出席した。「徒歩10分以内に、様々な寺院がある街は北野町ぐらい。これほど安心して暮らせる街はない」(アナビアンさん)。「北野天満神社では国籍や宗教にとら

われない国際祭りを開催。違和感なく外国人と一緒に集うことができるのは北野町ならではの」(佐藤さん)。

第2部では、OSK日本



第一部のフォーラム出席者。
右から河内さん、アナビアンさん、佐藤さん、ラジ・サタルさん

を考えると、街と文化のあり方を考えるフォーラム「神戸・北野発2004」が、神戸ネザールランドセンターで開かれた。今回プロデュースを担当した河内厚郎さんは「今、世界中で紛争が絶えないが、北野町にはカトリック教会、ユダヤ教会、ジャイナ教会、イスラム教会、日本の神



フォーラムとトークショーを企画した河内さん

歌劇団の元トップスター・那月峻さん、千爽貴世さんによる「アラビアンナイト」が上演され、つめかけた観衆を魅了した。「多くのエトランゼが集まってきた北野町にふさわしい歌劇を念頭において企画しました。来年は震災から10年目。いち早く形成されてきた北野町のコミュニティを発信していきたい」と河内さん。



「震災10年目にも北野の地で開催したい」と河内さん



ミュージカルの主演を務めた那月峻さん



田中 敏弘（たなか としひろ）

1962年名古屋市生まれ。

1987年丸万証券㈱（現東海東京証券）入社。

1997年㈱しゅんこう入社、同年11月紙漉の勉強のため高知県へ。

1998年7月北野工房のまち「サロン・ド・パビエ神戸和紙」オープン、店長就任、現在に至る。財日本和紙ちぎり絵協会評議員。

次代を創る
神戸のニューリーダー

16

田中敏弘

株式会社しゅんこう
事業部長

和紙ちぎり絵を彩る神戸和紙をすく。
日本の伝統文化を後世にも伝えたい。

昭和51年に中野肇社長が神戸で創業してから、現在では3万5000人を超える会員数を誇る、和紙ちぎり絵の「しゅんこう」は、北野工房のまちの2階で、和紙ちぎり絵の材料となる神戸和紙の手すきの作業を一般客に公開している。製作に携わる田中敏弘さんは、元は証券マンだったが、ちぎり絵の美しさに魅せられて、和紙の世界に飛び込んだ。神戸和紙をちぎり絵の材料だけでなく、日本の伝統産業として後世に伝える橋渡し役にもなりたいと話す。

自社製和紙の開発から 神戸和紙の誕生へ

今の仕事を始めるまで、私は和紙にぎり絵など、まったく知りませんでした。それが震災後、しゅんこう設立20周年の記念展があったのです。そのとき私はまだ名古屋にいたのですが、中野社長に招いてもらい、しゅんこうの展覧会などを見せていただいたのです。

そのとき社長の話を聞き、夢のあるビジネスだと感じました。高齢化社会に向かっていくなかで、そこにターゲットがあるビジネスです。そして美しいものをつくっていく商売であることが魅力的でした。それまで私は証券マンでした。もちろん証券マンも、お客様に喜んでもらうためにやっているのですが、結果がでなければお客様を悲しませたり、叱られたりします。しかし、この仕事は、お客様に気持ちよく喜んでもらえる仕事です。

それにしても、初めてちぎり絵を見たときはびっくりしましたね。それまでは私自身も、ちぎり絵といえは山下清の世界を連想していました。家内からいろいろな話は聞いていましたが、実際に見たときは、「これが本当は和紙なのか」

と思いましたね。工房を訪れて、初めてご覧になるお客様も、一緒に私と同じ感想を持たれるようです。

私がしゅんこうに入ったときは、まだまだちぎり絵愛好家が増えていく状態でした。愛好家が増えるということは、和紙の需要が増えるということですが、和紙産業は斜陽産業でした。すき手の高齢化や、商売になり辛いなどということと、衰退しているのです。

しかしうちとしては和紙が必要でした。いろいろな和紙屋さんに声をかけても、なかなか欲しい和紙が手に入りません。和紙が手に入らなければ、教材の供給にも支障をきたします。当時、和紙不足のジレンマは常に抱えていたようです。何とか自社で和紙を漉きたいというのが、社長の念願だったのです。そんな折に私が入社し、じゃあやってみようということになったのです。そこで、土佐和紙で有名な高知でお世話になり、半年ほど山の中に住み込みで、勉強をさせていただきました。

北野工房のまちができたのが平成10年7月ですが、私が高知から戻ってきたのが、同じ年の3月末です。4月から自社で和紙をつくる予定にしていたのですが、神戸

市さんから北野工房のまちの出路の話をいただき、ここでやらせてもらうことになりました。歴史上、神戸で紙をすいていたという記録はほとんど残っていません。ですから結果的に、神戸で創業ということになります。

和紙の呼び名は土佐、出雲、越前など旧国名を用いているものがほとんどです。自社ブランドとして命名する際に、摂津和紙にするなどの案もあったのですが、あえてモダンな名前を名乗ろうと、神戸和紙に、ということになったのです。

土佐で習った技術ですが、いまの神戸和紙は、土佐和紙とはまったく違うものになっています。神戸和紙の特徴は、剥ぐことのできる和紙ということです。原料、すき方など研究が必要でしたし、いまも研究中ですね。手作業になりますから、一日に240×250枚ぐらい作るのがやっとといった感じですよ。北野工房のまちですいた和紙がちぎり絵の教材となり、全国に出荷されているのです。紙の色数も100種類以上にものほります。私自身はちぎり絵はやりません。素材をつくる側として、作家さんの意見を聞いている方がいいと思っています。



すき上がった和紙を一枚一枚重ねていく。
1日250枚ほどが限度という



むらをつくらないように、細心の注意を払う。
特に、四隅がふ厚くなりがちなので気を付けるという



和紙の原料である楮の樹皮や繊維を
煮込み、すいていく

ちぎり絵でつながる 全国ネットワーク

しゅんこうの創業は昭和51年になります。私どもの会社は、全国でちぎり絵を楽しんでいた方々に教材を供給しています。いま現在、活動されている認定講師が1400人ほど、生徒数は3万5000〜4万人ほどになります。大きなネットワークだと思いますね。昭和50年代後半あたりに、一種のカルチャーブームがあったらしく、そのブームに乗ることができたようです。あと山間部、農村部にも愛好家が多いのです。雪で出歩けない地方の人にも、びったりの趣味なのかもしれませんね。

年齢的には年配の方が多く、しかもほとんどが女性です。経済的な負担が厳しい趣味なら続きませんが、材料が和紙とシキシくらいですから、安いものなら700円からあります。しかし、デザイン部門は苦勞していますね。四季の風景などを、和紙だけで何パターンもつくるのは大変ですから。同じ様なデザインではすぐに飽きられてしまいます。その点、うちの人気教材でもある干支は、毎年違うものが必ず来ますし、プレゼントしても喜ばれる素材ですね。

創業当時は社長を中心に、ほんの数名ではじまった会社です。芦屋・宝塚・西宮の3カ所にできたのが第1期の教室です。この地区は文化的レベルが高いのだそうです。東京の山の手地区の文化指数を100としたときに、100を越えていたらしいですからね。まだカルチャーという言葉さえない時代でしたが、お洒落でアカデミックな趣味として提案したのです。

もともと社長のお母様が、ちぎり絵を始められて、それを見てきた中野社長が、ちぎり絵をもっと全国に広めたいと考えたのです。しかしお母様がひとりでは、各地を教えて回るわけにはいきませんよね。そこで手本や型紙のシステムを考えました。最初は直営の教室や通信販売からスタートしたようです。まだ宅急便もない時代でしたから、社長がライトバンに乗って、各教室を回っていたそうです。

日本人がつくった和紙を もっと身近な存在に

いま北野工房のまちには、私を含めて5人の職人がいます。工房のまちができて5年ですが、うちの紙すき工房はここだけです。オープン当初は、素人のようなもので

したので、見られながらするのはかなりつらかったですね。水を扱う仕事なので、冬場は特に厳しい作業ですが、いまでも仕事は面白いです。ものをつくるということはいいですね。最初に紙ができたときは、とても嬉しかったですよ。手すき和紙というのはどんどん衰退していついてる産業です。自分が携わっている以上、無くなっ

ていくのは寂しいですし、何か活路を見いだしていきたいと常々思っています。まず、もっと和紙を知ってもらうことが必要ですね。しゅんこうの和紙ちぎり絵は、自信を持ってきれいだと言える世界です。もっと裾野が広がって、認知されればいいなあと思いますね。日本全国のどこかで、毎日のように展覧会が開かれています。

生徒さんたちの作品を、銀行のギャラリーや郵便局の壁に飾っています。こういう活動がもっと活発になっていき、日本画や洋画と並ぶステイタスを得てほしいですね。素材も技術も、日進月歩で向上していますので。海外へのアプローチなども、お話をいただくこともあります。やはりもっと日本認知されたいですね。

サロンド・パビエ 神戸和紙
神戸市中央区中山手通3-17
北野☆工房のまち2F
☎078-26110702



- ①北野☆工房のまち2Fには、田中さんのアトリエの他、四季にあわせたしゅんこうの作品が楽しめる
②この季節はやはりお雛さま。気軽に作成できるものから、上級者レベルのものまで、作品はまちまち
③ちぎり絵にとって、和紙は絵の具のようなもの。その種類は100にもほる

